

# 畑作・野菜・花き生産情報 第4号（要約版）

令和6年7月18日  
青森県「農林水産力」強化本部

- ◎ ほ場やハウス周辺の排水対策を徹底しよう！
- ◎ ながいもは、新しいもの長さを確認して適期に追肥しよう！
- ◎ 施設では換気や遮光をこまめに行うなど、温度管理を徹底しよう！
- ◎ 野菜、花きの品質保持のため、涼しい時間帯に収穫しよう！
- ◎ 病害虫の発生に注意し、早期発見・早期防除に努めよう！

## ○ 大豆

- 1 生育は、草丈、葉数ともに平年を上回っており、おおむね順調である。
- 2 大雨などで滞水しないよう、明きよと排水溝を点検し、排水対策を徹底する。
- 3 大豆の生育が遅れているほ場では、土寄せを浅くする。
- 4 雑草の発生が多いほ場では、中耕・培土の回数を増やしたり、大豆の生育期に使用可能な除草剤を散布する。
- 5 べと病、アブラムシ類及び食葉性害虫などの病害虫は、発生状況を確認して適期防除に努める。

## ○ ながいも

- 1 地上部、地下部の生育は、地域やほ場によるバラツキが見られるもののおおむね順調である。
- 2 早植栽培（頂芽付1年子）の第1回目の追肥時期は、新しいも長5cmを目安とし、第2回目以降の追肥は、12～14日間隔で行う。
- 3 普通栽培（頂芽切除）の第1回目の追肥時期は、新しいも長10～15cmを目安とし、2回目、3回目の追肥は、10日間隔で行う。
- 4 葉渋病、炭疽病、ナガイモコガ、アブラムシ類の発生に注意し、早期発見・早期防除に努める。
- 5 台風など強風や大雨に備え、ネットや支柱の補強など、排水対策を徹底する。

## ○ ばれいしょ

- 1 いも数は平年をかなり下回るが、いも重は平年をやや上回り、生育は順調である。
- 2 曇雨天が続くと、疫病が急激に増加するため、収穫まで期間がある場合は、7～10日おきに降雨の合間をぬって防除を行う。
- 3 収穫は、茎葉が黄変し、枯れ上がってから10日後位に行う。

## ○ ごぼう

- 1 は種作業の遅れにより、草丈は平年を大幅に下回っているものの、葉数は平年並まで増加し、生育は順調である。
- 2 黒斑細菌病、ハモグリバエ類等が散見されていることから、早期発見・早期防除に努める。

## ○ 夏だいこん

- 1 は種作業は平年並に行われ、出芽は良好である。
- 2 軟腐病、キスジノミハムシ、コナガ、アオムシの発生に注意し、早期発見・早期防除に努める。

## ○ 夏秋トマト（雨よけ栽培）

- 1 生育はおおむね順調で、6月末から収穫が始まっている。
- 2 葉先枯れやガク枯れのほか、花落ち、尻腐れ果が一部で見られている。
- 3 灰色かび病、葉かび病、アザミウマ類、タバコガ類等の発生に注意し、早期発見・早期防除に努める。
- 4 追肥及びかん水は、水分要求量が高くなる午前8～9時頃に行う。
- 5 ハウス内の高温に注意し、サイドの開放と併せて、肩換気やツマ面換気も行うとともに、高温が続く場合は、軟果に注意しながら、通路にもかん水する。

## ○ メロン（雨よけ栽培）

- 1 トンネル栽培（4月下旬～5月上旬定植）の生育は順調である。
- 2 収穫は、着果後の日数や外観、試し切りによる糖度・肉質の状況などから判断し、収穫遅れにならないようにする。朝夕の果温が低いうちに収穫する。

## ○ ねぎ

- 1 生育はおおむね順調である。
- 2 べと病、黒斑病等の早期発見に努め、各病虫害に効果的な薬剤を選択し防除する。
- 3 最終培土は、太さ20～22mm、収穫20～30日前を目安に行う。

## ○ 夏秋ギク

- 1 生育はおおむね順調である。
- 2 白さび病、アブラムシ類、アザミウマ類等の早期発見・早期防除に努める。
- 3 切り前は、出荷先により異なるため事前に確認する。
- 4 涼しい時間帯に収穫する。

## ○ 秋ギク

- 1 生育は順調である。
- 2 ハウス内が高温・過湿にならないように管理する。
- 3 かん水は、活着まではこまめに、活着後はほ場の乾燥状態を見ながら行う。

## ○ トルコギキョウ

- 1 生育はやや早まっている。
- 2 ハウス内が高温・過湿にならないように管理する。
- 3 不要な側枝は早めに摘み取り、頂花らい（1番花）も早めに除去する。
- 4 涼しい時間帯に収穫し、速やかに鮮度保持剤による前処理を行う。

※農なび青森 (<https://www.nounavi-aomori.jp/>) に本文を掲載しています。

- ◎『日本一健康な土づくり運動』展開中 ～元気な作物は健康な土が育みます～  
 ◎令和6年度青森県農薬危害防止運動展開中（6月1日～8月31日）  
 ◎食中毒を防ぐため、生産段階から「野菜の衛生管理」に努めましょう。  
 ◎備えあれば、憂いなし！ 農業保険を活用しましょう！  
 ◎熱中症予防運動を展開中です（6月1日～8月31日）  
 ◎ツキノワグマ出没警報報発令中!!（6月25日～11月30日）  
 ◎環境にやさしい農業に取り組んで、みどり認定を受けましょう

☆青森県総合防除計画を策定しました☆

県では、植物防疫法に基づく国の「総合防除基本指針」に即して、化学農薬のみに頼らない病害虫防除を行うための計画「青森県総合防除計画」を定めました。農作物の高品質生産とコスト低減に向けて、みんなで総合防除に取り組みましょう。



<https://www.nounavi-aomori.jp/farmer/archives/8140>

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ 総括主幹 木村一哉
電話番号	(畑作) 直通 017-734-9480、内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9481、内線 5076
報道監	農林水産部 次長 栗林豊 内線 4967